

## 令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月吉日  
札幌市立藤野南小学校

## 1 学校教育目標

地域を愛し 地球を愛する 心豊かにたくましく生きる子どもの育成

## 2 本年度の重点目標

子どもが「つなぐ力」を発揮できる学校の創造 ～学びあい、支えあい、高めあい～

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目		自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学びあい	意欲的に学習に取り組む姿勢や、基礎的な「学ぶ力」の向上を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲化を図る授業改善</li> <li>専科、ITなど学習形態の工夫</li> <li>家庭学習の取組の充実</li> <li>GIGA、ICTの充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を積極的に推奨してきた。今後は自分で工夫できる取組にしていきたい。</li> <li>クロームの取り扱いに課題がある。ネットモラル教育の充実および、全学年でネットモラル教室を実施する。</li> </ul>	A	A
	「主体的・対話的で深い学び」を図る授業改善がなされている	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向かう授業改善</li> <li>キャリア教育、プログラミング教育</li> <li>6つのセルフチェックの活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識を活用し仲間と協働しながら課題解決に向かう授業改善を進めてきたが、子どもの多様化など教職員に求められる部分が大きくなっている。若い教員もおり、セルフチェックを利用しながら改善を図る。</li> </ul>	A	A
	特色ある学習活動の構築を進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活、総合的な学習の整理・改善</li> <li>MLAを取り入れた対人関係能力の向上を目指した取組</li> <li>地域と連携した学習（ポッチャ）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>MLAの取組に学校全体として取組み、子どもたち同士の関わりの質を高めようとしてきた。</li> <li>地域の方との取組を今後も充実させたい。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方との学習が、休み時間にポッチャを楽しむことなど、子どもたちの日常に生きている。</li> <li>多様化する中で、生美の場も昔とは変化指定が、地域の方々は昔のままをイメージしているので、今の学習の内容をもっとアピールしてもよいのではないかと。</li> </ul>				
支えあい	自分や他者のよさを認め、命を大切にすることを指導が充実している	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育（命・いじめ・人権）の推進</li> <li>認め合う学級活動、児童会活動</li> <li>「いじめは絶対に許さない」全校風土</li> <li>SC、SSW等外部人材との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリを利用しSCと子どもをつなげ、思いや悩みを言葉にすることに努めてきた。</li> <li>自己肯定感が低い、困難に向かうことが難しい様子がある。自他ともによさを認め合える、自信を深め自分の可能性を実感できる取組を推進していく。</li> </ul>	A	A
	人とかかわりを深め、社会性を育む指導を推進している	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ、感謝、あきらめない心</li> <li>学校行事、ふれあい活動の充実</li> <li>SEL（情動と社会性の学び）の実施</li> <li>不登校児童へのアプローチ</li> <li>異学年交流「ふれあい活動」</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>SEL推進のため、外部講師を招き、3度職員研修を行うなど学校を上げて取り組んだ。子ども同士の相互承認の感度を高めていくことにつながった。</li> <li>儀式や行事への参加態度を育てるために、事前学習や振り返りなどを欠かさず行うことで、望ましい姿を育む。</li> </ul>	A	A
	保護者・地域、近隣校との連携がなされている	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標、重点目標の周知と共有</li> <li>子どものよさ、育ちの積極的発言</li> <li>近隣小中、園との連携</li> <li>「小中一貫した教育」の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP等で子どもたちの様子をお伝えしてきた。また、「すぐーる」が導入されピンポイントで保護者に情報をお伝え出来た。</li> <li>近隣校とも情報発信、情報共有を意識し、さらに連携強化に努める。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の見守りをしていると、同じ子どもでも日によって表情が違う。MLAの取組は必要</li> <li>スマホを低学年でも使用している現状なので、親同士も具体的な対応を求められる。</li> </ul>				
高めあい	健やかな体づくりの充実を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境づくりなどによる体力の向上</li> <li>外部講師による体育の授業や心の健康に関する授業の充実</li> <li>保健指導・食指導の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドッジボールコートなどの常設に加え、ポッチャや野球用具の貸し出しを行ったりしてきた。</li> <li>外部講師によるラグビーの授業や、ネットモラルの授業など心身の大切さを図る本物の体験ができた。</li> </ul>	A	A
	安心・安全な校内外生活を送られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全（生活・交通・災害）の指導</li> <li>安全に関する情報の共有</li> <li>避難訓練の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者の情報などの際に、見回りや安全だよりを発行することで、児童の安全を守ろうとした。校内外を問わず、子どもたち自身が安全に過ごす意識がもてるよう、次年度は取り組んでいく。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>公園で遊んでいる子どもたちが、やはり少なくなった感じがする。体力的な面で、今後不安あがある。</li> </ul>				